

2022年 *Celebrate Sukkot*

10.9~16

創世記 1 章に見る「神のご計画の全貌の啓示」の集中講座(14 回分)

10月	9(日)	10(月)	11(火)	12(水)	13(木)	14(金)	15(土)	16(日)
朝 (09:30~11:00)	—	No.2 2 節	No.4 4 節	No.6 6~10 節	No.8 14~19 節	No.10 24~25 節	No.12 27~28 節	—
夜 (20:00~21:30)	No.1 1 章 1 節	No.3 3 節	No.5 5 節	No.7 11~13 節	No.9 20~23 節	No.11 26 節	No.13 29~31 節	No.14 2 章 1~4a 節

●聖書は基本的に【新改訳 2017】ですが、原語の Hebrew と聖書全体から説き明かします。

【新改訳 2017】創世記 1 章 1 節～2 章 4 節前半

- 1:1 はじめに神が天と地を創造された。
- 1:2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上にあり、神の霊がその水の面を動いていた。
- 1:3 神は仰せられた。「光、あれ。」すると光があった。
- 1:4 神は光を良しと見られた。神は光と闇を分けられた。
- 1:5 神は光を昼と名づけ、闇を夜と名づけられた。夕があり、朝があった。第一日。
- 1:6 神は仰せられた。「大空よ、水の真ただ中であれ。水と水の間を分けるものとなれ。」
- 1:7 神は大空を造り、大空の下にある水と大空の上にある水を分けられた。すると、そのようになった。
- 1:8 神は大空を天と名づけられた。夕があり、朝があった。第二日。
- 1:9 神は仰せられた。「天の下の水は一つの所に集まれ。乾いた所が現れよ。」すると、そのようになった。
- 1:10 神は乾いた所を地と名づけ、水の集まった所を海と名づけられた。神はそれを良しと見られた。
- 1:11 神は仰せられた。「地は植物を、種のできる草や、種の入った実を結ぶ果樹を、種類ごとに地の上に芽生えさせよ。」すると、そのようになった。
- 1:12 地は植物を、すなわち、種のできる草を種類ごとに、また種の入った実を結ぶ木を種類ごとに生じさせた。神はそれを良しと見られた。
- 1:13 夕があり、朝があった。第三日。
- 1:14 神は仰せられた。「光る物が天の大空にあれ。昼と夜を分けよ。定められた時々のため、日と年のためのしるしとなれ。」
- 1:15 また天の大空で光る物となり、地の上を照らすようになれ。」すると、そのようになった。
- 1:16 神は二つの大きな光る物を造られた。大きいほうの光る物には昼を治めさせ、小さいほうの光る物には夜を治めさせた。また星も造られた。
- 1:17 神はそれらを天の大空に置き、地の上を照らさせ、
- 1:18 また昼と夜を治めさせ、光と闇を分けるようにされた。神はそれを良しと見られた。
- 1:19 夕があり、朝があった。第四日。
- 1:20 神は仰せられた。「水には生き物が群がれ。鳥は地の上、天の大空を飛べ。」
- 1:21 神は、海の巨獣と、水に群がりうごめくすべての生き物を種類ごとに、また翼のあるすべての鳥を種類ごとに創造された。神はそれを良しと見られた。
- 1:22 神はそれらを祝福して、「生めよ。増えよ。海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ」と仰せられた。

1:23 夕があり、朝があった。第五日。

1:24 神は仰せられた。「地は生き物を種類ごとに、家畜や、這うもの、地の獣を種類ごとに生じよ。」すると、そのようになった。

1:25 神は、地の獣を種類ごとに、家畜を種類ごとに、地面を這うすべてのものを種類ごとに造られた。神はそれを良しと見られた。

1:26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」

1:27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。

1:28 神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。」

1:29 神は仰せられた。「見よ。わたしは、地の全面にある、種のできるすべての草と、種の入った実のあるすべての木を、今あなたがたに与える。あなたがたにとってそれは食物となる。

1:30 また、生きるいのちのある、地のすべての獣、空のすべての鳥、地の上を這うすべてのもののために、すべての緑の草を食物として与える。」すると、そのようになった。

1:31 神はご自分が造ったすべてのものを見られた。見よ、それは非常に良かった。夕があり、朝があった。第六日。

2:1 こうして天と地とその万象が完成した。

2:2 神は第七日に、なさっていたわざを完成し、第七日に、なさっていたすべてのわざをやめられた。

2:3 神は第七日を祝福し、この日を聖なるものとされた。その日に神が、なさっていたすべての創造のわざをやめられたからである。

2:4 これは、天と地が創造されたときの経緯である。

第一日	2～5 節	光	神は光を良しと見られた	夕があり、朝があった
第二日	6～8 節	大空(天)		夕があり、朝があった
第三日	9～10 節	地と海	神はそれを良しと見られた	
	11～13 節	植物	神はそれを良しと見られた	夕があり、朝があった
第四日	14～19 節	光る物(太陽・月・星)	神はそれを良しと見られた	夕があり、朝があった
第五日	20～23 節	水の中の生き物、 翼のある空の鳥	神はそれを良しと見られた	夕があり、朝があった
第六日	24～31 節	地の生き物 人と食物	神はそれを良しと見られた 見よ、それは非常に良かった	夕があり、朝があった